

平成21年度 第11回 (2月) 理事会議事録

- 日 時 平成22年2月4日(木) 午後6時30分～7時50分
- 会 場 社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- 出席者 今井、運天、竹浦、吉本、高田、清水、荒木、田畑、高橋、井戸田、出野、宮野、酒井、栗本、山西、東野、(仲野)
- 欠席者 大垣、山田、小宮山、村上
- 議 長 今井

【討議内容】

I 行動報告 (1月分)

- 1月4日 大阪府・大阪市・在阪経済三団体互礼会
今井
- 5日 大阪府医師会互礼会
今井
- 7日 大阪府庁へ公益法人移行申請の相談
今井、運天
- 7日 浅田会計事務所訪問
今井、運天
- 8日 大阪理学療法士会新年互礼会
運天
- 8日 病院関係五団体互礼会
今井
- 8日 大阪府看護協会互礼会
今井
- 9日 大阪府放射線技師会互礼会
今井
- 10日 大阪府薬剤師会互礼会
今井
- 10日 大阪府歯科技工士会互礼会
今井
- 14日 理事会
今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、清水、荒木、田畑、井戸田、出野、山田、宮野、酒井、高橋、栗本、山西、小宮山、村上
- 16日 大臨技・大放技合同フォーラム
今井、運天、竹浦、吉本、大垣、清水、荒木、田畑、井戸田、出野、宮野、酒井、山田
- 19日 渉外部会
清水
- 20日 日臨技認定制度協議会・審議会合同会議
今井
- 20日 総務・会計部会
運天、吉本、荒木
- 21日 地区事業部会
田畑、栗本
- 21日 情報組織部会
運天、竹浦、井戸田、小宮山、山西、
- 22日 日臨技懇談会
今井
- 22日 臨床検査安全管理研修会
運天
- 23日 代議員会
今井、運天、竹浦
- 23日 日臨技連盟会議
運天
- 24日 日臨技認定センター主催認定更新研修会
今井
- 27日 常務理事会
今井、運天、竹浦、吉本、荒木
- 28日 学術部会
高田、山西、宮野

II 経過報告

- 1. 日臨技
 - 1月22日に平成21年度臨床検査安全管理研修会が開催された。
 - 1月23日に代議員会および日本臨床検査技師連盟連絡責任者会議が開催された。
 - ① 財政経理では、会費の未入金者に対する対策として、会費の自動引き落としを考慮中である。
 - ② 日臨技リンクスと臨床検査技師の賠償責任保険は、全員加入の方向で考えている。運天副会長より、内視鏡検査も臨床検査技師の業務に加え、保険の対象としていただきたい旨の要望書を出している。
 - ③ 組織制度として、公益認定のための定款諸規定の整備を急遽行う。
 - ④ 精度保障として、データ標準化の実践と推進を行う。
 - ⑤ 国際事業として、平成22年5月に神戸市で日韓代表者会議が開催される。
 - ⑥ 日臨技の公益社団法人化に向け、コンサルティングが入り、2月末には公益化の指針が決まる。
- 2. 近臨技
 - 2月10日に会長会議および理事会を開催される予定である。
- 3. 公益法人移行委員会
 - 1月27日に委員会が開催された。
 - 監事の被選挙権について山中氏(浅田会計事務所)が監事に推薦されるにあたり「役員選挙規程 第12条1項」に改訂が必要のため検討した。
 - 特定準備資金の扱いについて検討した。事務所移転の積み立資金を基本財産引当金に組み入れたことについて確認を行った。
 - 研修会参加費(会員500円、非会員3,000円)の格差の妥当性について検討した。
- 4. 事務局
(総務部)
 - 1月20日に部会を開催した。
 - 大臨技総会について検討した。
 - 大臨技ニュース掲載規程の制定について報告した。
 - 大臨技ホームページの体制について検討した。
 - 賛助会員への対応について検討した。
 - 大臨技会長賞の準備を行った。各教育施設の卒業式に、会長より表彰盾が進呈される。
 - 大臨技ニュース1月号を発行した。
 - 大臨技ホームページを更新した。
 - (会計部)
 - 1月20日に部会を開催した。
 - 12月度収支決算書を作成した。
 - 日臨技へ12月分会費の送金を行った。
 - 平成22年度事業予算案を作成した。
 - (渉外部)
 - 1月19日に部会を開催した。
 - 大臨技・大放技合同フォーラム(1月16日)の反省および第5回会議(2月2日)の準備を行った。
 - 第32回献血推進活動の内容を検討した。
 - 日臨技公益委託事業について説明を行った。
 - 来年度事業について検討した。
- 5. 事業局
(情報組織部)
 - 1月21日に部会を開催した。
 - 検査運営研修会(12月19日)の反省を行った。

- 第26回技師長会(2月20日、住友病院)の詳細な打ち合わせを行った。
テーマは「チーム医療」、演題は「NST活動の有効性とその効果」「診療報酬改定最新情報」
- 来年度事業の日程の確認を行った。
(地区事業部)
1月21日に部会を開催した。
- 支部長会(2月9日)を開催し、支部役員の改選を行う。
- 施設連絡者会(3月20日、大阪産業創造館)について話し合った。
内容は、「大臨技および日臨技報告」および「平成22年度保険点数改定を踏まえて」。
- 「マタニティカーニバル2010」の展望について話し合った。
(学術部)
1月28日に部会を開催した。
- 平成22年度会計予算について報告した。
- 平成21年度決算報告の早期提出を依頼した。
- 第2回学術部講演会(3月6日、アベノメディックス)について話し合った。

Ⅲ 他、報告

1. 大臨技平成22・23年度役員改選について (運天副会長)

- 2月5日に役員推薦委員会および選挙管理委員会が開催される。
- 役員推薦委員会より選挙管理委員会に平成22・23年度役員を推薦する。選挙管理委員会が大臨技会員に選挙告示(第2号)を行う。
- 役員推薦委員の栗本誠一氏が、来年度監事に推薦されたため、後任に小林喜志郎(元理事)氏が選任された。
- 役員推薦委員の田淵善昭氏が、今年度で退任されるにあたり、後任として東野健一氏が選任された。

2. 大臨技・大放技合同フォーラムについて

- 参加者は195名(大放技58名、大臨技90名、一般47名)であった。
- 合同フォーラムの広報として、朝日新聞に掲載を行ったこともあり、多くの府民の参加があった。
- 反省会で、府民よりスライドが見難かったという声が上がったこともあり、今後、多数の府民の参加を見込んだ会場の選択が必要となる。大阪府医師会館の講堂の使用が提案され、予算を検討したうえ、大阪府医師会の後援依頼も視野に入れた検討が必要である。
- 今後、府民対象のフォーラムの開催も多くなることもあり、忘れ物のアナウンス等の配慮も必要である。
- 来年度は、大臨技が担当することになるので、テーマを提案して欲しい。

Ⅳ 議題

1. 大臨技総会について(吉本常務理事)

- 平成21年度第2回定期総会(平成22年度予算総会)タイムスケジュールに従い説明があった。
 - ① 受付は、地区事業部より1名、総務部より伊東氏が担当する。
 - ② 永年会員表彰対象者は71名で、代表者を江川氏(大阪府立成人病センター)とした。
 - ③ 第1議長は片山氏(㈱大阪血清微生物研究所)、第2議長の杉山氏(岸和田市民病院)が急遽欠席のため、総務部の真鍋氏(京阪病院)が担当する。
 - ④ 資格審査委員兼議事運営委員は、井戸田理事と高田理事、会員より3名は野村氏(住友病院)、池田氏(城山病院)、近藤氏(新大健診クリニック)が担当する。

⑤ 第3号議案の「平成22・23年度役員選任に関する件」として、選挙管理委員長の辻氏(結核予防会)が担当する。

⑥ 第4号議案の「日臨技総会代理人選出の件」として現在3名であるが、3月31日の時点で正会員数が3,000名を超える場合は、4名選出が必要であり、吉本常務理事が選任されることとなった。

⑦ 議事録署名人は、情報組織部より、朴氏(共和病院)、久保田氏(大阪府立泉州救命救急センター)が担当する。今回は役員選挙があるため議事録署名人の印鑑証明が必要である。

⑧ 総会終了後に、世話人との交流会を弁天町で行う。2月末までに出欠を確認する。

2. 吹田市健康づくり評議員について(今井会長)

- 本岡氏(協和会病院)が3月末で任期満了のため退任となるので、後任として前田氏(ガラシア病院)が選任された。任期は平成24年3月末までである。

3. 役員選挙規程の見直し(運天副会長)

- 平成22・23年度役員候補者として、監事に山中氏(浅田会計事務所)が決定しているため、役員選挙規程の見直しが必要となった。
- 役員選挙規定の第12条1項の「継続して10年以上の正会員は、会長、副会長、監事の被選挙権を有する」とある。
- 2項に「監事については非会員でも被選挙権を有する」との文言を追加する。
- 現在の2項は、3項とする。

4. 研修会参加費について(運天副会長)

- 研修会費として、会員500円、非会員3,000円とあるが、金額の妥当性について検討した。
- 参加費は、研修会の会場費と講師費を合算した支出を基に設定している。
- 大臨技は、会費で運営していることもあり、一人5,000円の会費は、年間延べ2.5回(年間の研修会参加の延べ人数を会員数で割ったもの)の研修会に参加したとした金額である。そのことを踏まえ、非会員3,000円という会費は妥当である。

V 後援名義使用申請

1. 平成22年5月9日に(財)日本呼吸器学会、(財)結核予防会、(財)日本医師会主催により開催される「呼吸の日記念フォーラム2010」の後援名義使用が承認された。

2. 平成22年3月13日に南大阪睡眠呼吸障害研究会主催により開催される「第5回南大阪睡眠呼吸障害研究会」の後援名義使用が承認された。